

住宅医の実施する住宅改修

～地域のストック住宅活用を目指して～



主催／一般社団法人和歌山県建築士会

企画/女性委員会

2単位

新築住宅の供給を中心に考えられてきた国内の住宅市場が、ストック重視へと方針転換されて久しくなります。しかし、新築主体の住宅市場の構造が大きく変わることがないまま、近年は空き家が深刻な社会問題となっています。H25年のデータによると、和歌山県の空き家率は全国ワースト3位となっており、今後も増加傾向にあると推測されています。中古住宅の流通が活性化されない理由はさまざまありますが、一般消費者にとって既存住宅の品質面での不安は大きな要因としてあげられています。そのため、既存住宅を見極める力が必要とされ、建築士はその役割を大きく担っています。

このたび、Ms(エムズ)建築設計事務所 三澤文子先生をお招きし、既存住宅の調査・診断から改修設計・施工に至るまでの実践的な手法について学びたいと思います。

日時：平成31年4月24日(水曜日)

13:00から受付開始

◆ タイムスケジュール ◆

13:00 受付開始
13:35 講演会開始
15:05 休憩(10分)
15:15 質疑応答
15:45 終了
16:00 懇親会

会場：和歌山県建築士会館3F
〒640-8045 和歌山市ト半町38

参加費：¥1,000円(建築士会会員)
¥1,500円(一般・会員外)

定員50名

CPD単位：2単位

※申込締切日 3/29

※懇親会は自由参加です
酒類などのご提供はありません



講師 三澤文子(みさわふみこ)

1956年静岡生まれ。1979年奈良女子大学理学部物理学科卒業、(株)現代計画研究所を経て1985年三澤康彦と共に大阪にてMs建築設計事務所設立。林産地と都市の住まい手とを結ぶ活動を木造住宅設計に取り込み、数多くの「木の家」を設計する。1995年、阪神淡路大震災を契機に被害調査活動をともに行った仲間と木構造住宅研究所(後にMSDに改名)を共同設立し、1996年よりMOKスクールを開催し現在も継続中。各地の木造塾の立ち上げに協力するなど、この頃より木造教育にかかわる。2001年～2009年 岐阜県立森林文化アカデミー教授、その後 客員教授。2011年～2014年 京都造形芸術大学通信大学院教授。現在Ms建築設計事務所 主宰。

作品は ケナル山荘、白水湖畔ロッジ、北沢建築工場など多数。著書に「木造住宅の可能性」(INAX出版)、「住宅に空間力を」(彰国社)、「最高の木造住宅をつくる方法」(エクスナレッジ2010)がある。2007年日本建築学会賞教育賞受賞、2013年日本建築士会連合会賞優秀賞(北沢建築工場)

<申込先>

右記申込書に必要事項をご記入の上
faxまたはメールにてお申込み下さい

(一社)和歌山県建築士会 事務局
FAX : 073-433-2772
E-Mail : info@wakayama-aba.jp

◆申込書◆ 平成31年4月24日(水)セミナー

ふりがな
氏名

・会員 ・会員外

CPD番号

申込締切日 3/29

連絡先 (Email又はTEL/FAX)

※FAX で申し込む場合はコピーしてお使い下さい

※ご記載頂いた情報は厳重に管理し、上記以外の目的に使用しません